様式第２号（第４条関係）

（１）　炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー
給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備
ヒートポンプ冷暖房機
火花を生ずる設備・放電加工機
設置届出書

（３）
（宛先）　　消防署長

（２）　年　　月　　日

届　出　者
住　所
氏　名　（４）
（電話　　）

防火対象物	所在地	（５）			電話	
	名　称	（６）		主要用途	（７）	
設置場所	用　途	（８）	床面積	（８）㎡	消防用設備等又は特殊消防用設備等	（９）
	構　造		階　層			
届出設備	設備の種類	（10）				
	着工（予定）年月日	（11）		竣工（予定）年月日	（11）	
	設備の概要	（12）				
	使用する燃料・熱源・加工液	種別	使用量			
		（13）				
	安全装置	（14）				
取扱責任者の職氏名		（15）				
工事施工者	住所	（16）	電話			
	氏名					

※　受　付　欄	※　経　過　欄

備考
1　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。
2　法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
3　階層欄には、屋外に設置する設備にあつては、「屋外」と記入すること。
4　設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
5　設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
6　※印の欄は、記入しないこと。
7　白山野々市広域事務組合火災予防条例第３章第１節に規定する位置及び構造に関する図書を添付すること。
8　本届出書は、２部提出すること。

[炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備
ヒートポンプ冷暖房機 ・火花を生ずる設備・放電加工機設置届出書記入要領]

項　目	記　入　要　領
（1） 炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備・ヒートポンプ冷暖房機・火花を生ずる設備・放電加工機	「炉」「厨房設備」「温風暖房機」「ボイラー」「給湯湯沸設備」「乾燥設備」「サウナ設備」「ヒートポンプ冷暖房機」「火花を生ずる設備」「放電加工機」（以下、「炉等という。」のうち、不要なものを横線で抹消します。
（2） 年月日	届け出る日を記入します。
（3） 宛先	所轄する消防署長あてとします。
（4） 届出者	炉等を設置又は変更する者の住所及び氏名を記入します。届出者が法人の場合は、法人名及び代表者氏名を併記します。
（5） 防火対象物　所在地	炉等を設置又は変更する防火対象物の所在地を記入します。
（6） 防火対象物　名称	炉等を設置又は変更する防火対象物の所在地を記入します。 【例】 〇〇株式会社〇〇工場、〇〇銀行〇〇支店、〇〇ビル
（7） 防火対象物　主要用途	前（6）で記入した防火対象物の用途を、消防法施行令別表第1に掲げる用途区分により記入します。 【例】 特定用途の複合、学校、事務所
（8） 設置場所　用途、構造、床面積、階層	炉等を設置又は変更する場所（部分）の用途、構造、床面積、階層を記入します。 【例】 ・（ボイラー）ボイラー室　内装不燃鉄骨造、45㎡、2階 ・（ヒートポンプ冷暖房機）敷地南東側、床コンクリート、－、屋外 ・（厨房設備）調理場、内装不燃鉄骨造、250㎡、1階
（9） 消防用設備等又は特殊消防用設備等の概要	消防用設備又は特殊消防用設備等の種類と設置数を記入します。 【例】 ・粉末消火器(10型)　1本 ・不活性ガス消火設備　（全域）
（10） 設備の種類	炉等の具体的な設備名を記入します。 【例】（炉）　鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、窯業用炉、乾燥炉、焼却炉等 （厨房設備）業務用厨房設備 （温風暖房機）　反密閉式強制対流型、密閉式強制吸排気型等 （ボイラー）　小型温水ボイラー、簡易蒸気ボイラー等 （給湯湯沸設備）　外用フード付き、半密閉式等 （乾燥設備）　塗装焼付乾燥、衣類乾燥機等 （火花を生ずる設備）　グラビア印刷機、起毛機等
（11） 着工（予定）年月日 竣工（予定）年月日	炉等の設置又は変更工事に着手した日（予定含む）及び完了した日（予定含む）を記入します。
（12） 設備の概要	前(10)で記入した種類について、位置と取扱い方法の概要を簡記します。書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙に記入してください。 【例】（焼却炉）　敷地北側隅、コンクリート地盤、産業廃棄物の焼却、助燃材の使用なし （小型温水ボイラー）　1階南側ボイラー室、主要構造部は耐火構造、浴場に温水供給 （衣類乾燥機）　1階コインランドリー内　〇〇製　型番〇〇
（13） 使用する燃料・熱源・加工液	炉等に使用する燃料・熱源・加工液の種別及び使用量を記入します。書ききれない場合は「別紙のとおり」とし、別紙に記入してください。 【例】 ・灯油　4.5L/h ・電気100V　30A
（14） 安全装置	炉等に附属する安全装置を記入します。 【例】 炎監視装置、過熱防止装置、耐震自動消火装置
（15） 取扱責任者の職氏名	炉等を使用する取扱責任者の組織上の地位及び氏名を記入します。 【例】 製造部長　〇〇　〇〇

(16) 工事施工者 住所、氏名	炉等を設置又は変更する工事施工者の住所及び氏名を記入します。

[添 付 が 必 要 な 図 書 備 考 7]

位 置	炉等の位置を示すために、次のような図面を添付します。 付近見取図、敷地内配置図、立面図等の設置場所の周囲の状況を示すもの
構 造	炉等の構造を示すために、次のような図面を添付します。 建築物の構造図、室内仕上表、配管図、設備図、電気配線図、仕様書等の建築物又はその他の工作物及び主要な設備機器の構造を示すもの
そ の 他	その他必要な図面を添付します。 【例】・作業工程図(一連の流れがわかるもの) ・附属設備図(安全装置等の取付位置・構造・材料・作動温度等) 変更にあっては、当該変更に係る詳細図等 ※不明な点は所轄の消防署へ確認してください。